

埼玉医科大学「看護技術・介護技術プロジェクトを推進する会」を発足
～医療と介護の融合による安心、安全な地域包括ケアを実現するために～

本学では、医療と介護の融合による安心、安全な地域包括ケアを実現するために、さまざまな取り組みを行っております。その中で、画期的な看護技術・介護技術を、本学病院はもとより、地域の医療施設、介護施設などにも広めるためのプロジェクトを発足いたしました。

埼玉医大式の腰に負担のかからない看護技術・介護技術は、看護師、介護士の共通の悩みである腰痛問題を解決する画期的な技術です。また、従来の介助方法では患者さんに大きな負担がかかっておりましたが、埼玉医大式の腰に負担のかからない看護技術・介護技術で介助することにより患者さんにかかる負担を大きく軽減することができ、患者さんにとって楽な介助をうけることができます。



講習の様子

本学は、埼玉医大式の腰に負担のかからない看護技術・介護技術を学内に定着させると同時に、退院指導にこの技術を取り入れて、患者さんが退院後も自宅で安心、安全な介護を受けられるように本プロジェクトを進めております。在宅介護の困難さゆえに、住み慣れた地域を離れなければならない患者さん



修了式

んを一人でも減らせるように、そして、可能な限り住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるような“医療と福祉の理想郷”づくりを目指してまいります。

埼玉医科大学看護技術・介護技術プロジェクトを推進する会

実行委員長 根津良幸

副委員長 武藤光代、小山政史